

ME-07-11

環境活動レポート

(期間2018年4月~2019年3月)



作成日 2019年6月1日

有限会社 丸保商店

有限会社丸保商店環境方針

企業理念

有限会社丸保商店は、廃棄物の収集運搬及び処分を通して、地球の環境保全に貢献するとともに循環型社会の形成にお役立ちする為に継続的な環境改善活動を進めて行きます。また、環境関連法規等を遵守いたします。

- 1、受託する産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
- 2、エコドライブによる二酸化炭素の低減に努める。
- 3、水道使用量の削減に努める。
- 4、電気使用量の削減に努める。
- 5、会社周辺の清掃を実施し地域の環境保全に協力する。
- 6、グリーン購入を推進し環境保全に貢献する。

社内の要所に環境方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

2010年7月2日 作成
2013年9月1日 改定

有限会社丸保商店
代表取締役 伊藤憲幸

事業の概要

1.事業社名及び氏名

有限会社 丸保商店

代表取締役 伊藤憲幸

2.所在地 (期間2018年4月～2019年3月)

本社工場	東京都足立区竹の塚二丁目32番17号
神明南リサイクルセンター	東京都足立区神明南一丁目14番23号
資材置場(無人)	埼玉県川口市大字安行吉蔵中道東12他
第1駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目14番7号
第2駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目17番2号
第3駐車場	東京都足立区保木間五丁目1番18号

3.環境管理責任者及び連絡先

代表取締役 伊藤憲幸

電話 03-3883-4649 e-mail itou@maruho-s.com

4.事業活動の概要

産業廃棄物収集運搬(積替え・保管を含む)

産業廃棄物処分(中間処理) 本社工場 切断圧縮、切断
神明南RC 破碎、切断

5.事業の規模

法人設立年月日 昭和63年12月15日

資本金 7,000,000円

従業員 14人

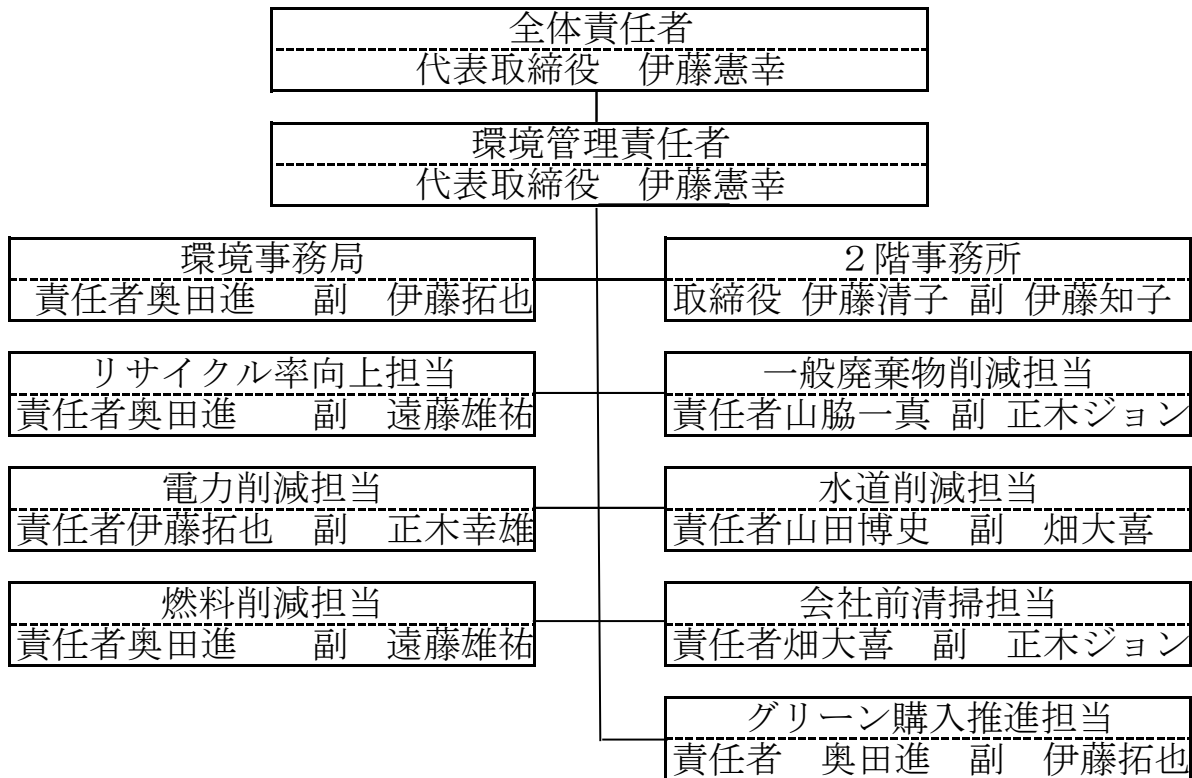
敷地面積 本社工場 : 172.8㎡
神明南RC : 221.24㎡

廃棄物処理量(平成30年4月～平成31年3月)
収集運搬量 2695.726 t
中間処理量 2715.072 t
売上高(平成30年4月～平成31年3月)
平成30年度 135,820,000円

6.対象範囲 全組織・全活動を対象とする

7. 組織図

環境経営システム推進実施体制



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な事項を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 ・環境関連法規等の取りまとめ票の作成。 ・環境関連法規等の取りまとめ票に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・緊急事態への準備と対応 ・E A 2 1 推進事務局。 ・環境活動レポートの作成、公開。 ・環境活動の実績集計。 ・環境活動計画書原案の作成。
2階事務所責任者 （取締役伊藤清子）	<ul style="list-style-type: none"> ・2階事務所兼住居における環境活動の一切の権限。
各担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当部門における環境経営システムの実施。 ・各担当部門における環境方針の周知。 ・各担当部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・各担当部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的に環境活動へ参加。

8. 許認可取得状況

許可項目			産業廃棄物の種類																		
許可を受けている 都県・政令市	許可番号	許可年月日	金属くず	ガラス陶磁器	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	鉱さい	ばいじん	石棉含有物	水銀使用製品	
		許可の有効期限																			
東京都処分（中間処理：切断圧縮、切断）	13-20-024825	令和2年6月22日	○	○	○	○	○	○													
本社工場 施設所在地：東京都足立区竹の塚二丁目32番17号																					
東京都処分（中間処理：破碎、切断）	13-20-024825	令和2年6月22日	○	○	○	○	○	○													
神明南RC 施設所在地：東京都足立区神明南一丁目14番23号																					
東京都収集運搬（保管・積替え含む）	13-10-024825	令和1年12月14日	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本社工場 施設所在地：東京都足立区竹の塚二丁目32番17号																					
東京都収集運搬（保管・積替え含む）	13-10-024825	令和1年12月14日	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神明南RC 施設所在地：東京都足立区神明南一丁目14番23号																					
千葉県収集運搬	01200024825	平成28年8月20日 令和3年8月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県収集運搬	01101024825	平成26年12月13日 令和1年12月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県収集運搬	01403024825	平成29年1月26日 令和3年12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県収集運搬	00801024825	平成29年8月29日 令和4年7月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
群馬県収集運搬	01000024825	平成27年9月16日 令和2年9月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県収集運搬	00900024825	平成27年9月2日 令和2年9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城県収集運搬	0400024825	平成26年8月12日 令和1年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県収集運搬	00707024825	平成27年4月22日 令和2年4月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山形県収集運搬	0609024825	平成27年7月27日 令和2年7月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新潟県収集運搬	01509024825	平成27年8月20日 令和2年8月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県収集運搬	2009024825	平成27年8月12日 令和2年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山梨県収集運搬	01900024825	平成27年8月12日 令和2年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県収集運搬	02201024825	平成27年8月12日 令和2年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○											○
廃棄物再生事業者登録	東京都 第149号	平成9年12月17日 期限無し	○																		
東京都公安委員会許可	306699701771		機械工具商																		

※ ●は「保管・積み替え」の産業廃棄物の種類である。

※水銀使用製品は許可更新時に順次更新記載する



9. 施設の状況等

中間処理施設（本社工場）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
切断圧縮	廃プラスチック類	4.1 t/日	5.8 t/日
	金属くず	8.5 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	5.3 t/日	
	紙くず	6.3 t/日	5.1 t/日
	木くず	3.1 t/日	
	繊維くず	5.8 t/日	
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.3 t/日	
	金属くず	18.4 t/日	

中間処理施設（神明南リサイクルセンター）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
破碎	廃プラスチック類	3.3 t/日	*****
	紙くず	3.0 t/日	
	木くず	4.9 t/日	
	繊維くず	1.2 t/日	
	金属くず	7.2 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	12.6 t/日	
破碎	がれき類	4.8 t/日	*****
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.4 t/日	
	金属くず	18.5 t/日	

積替え保管施設（本社工場）

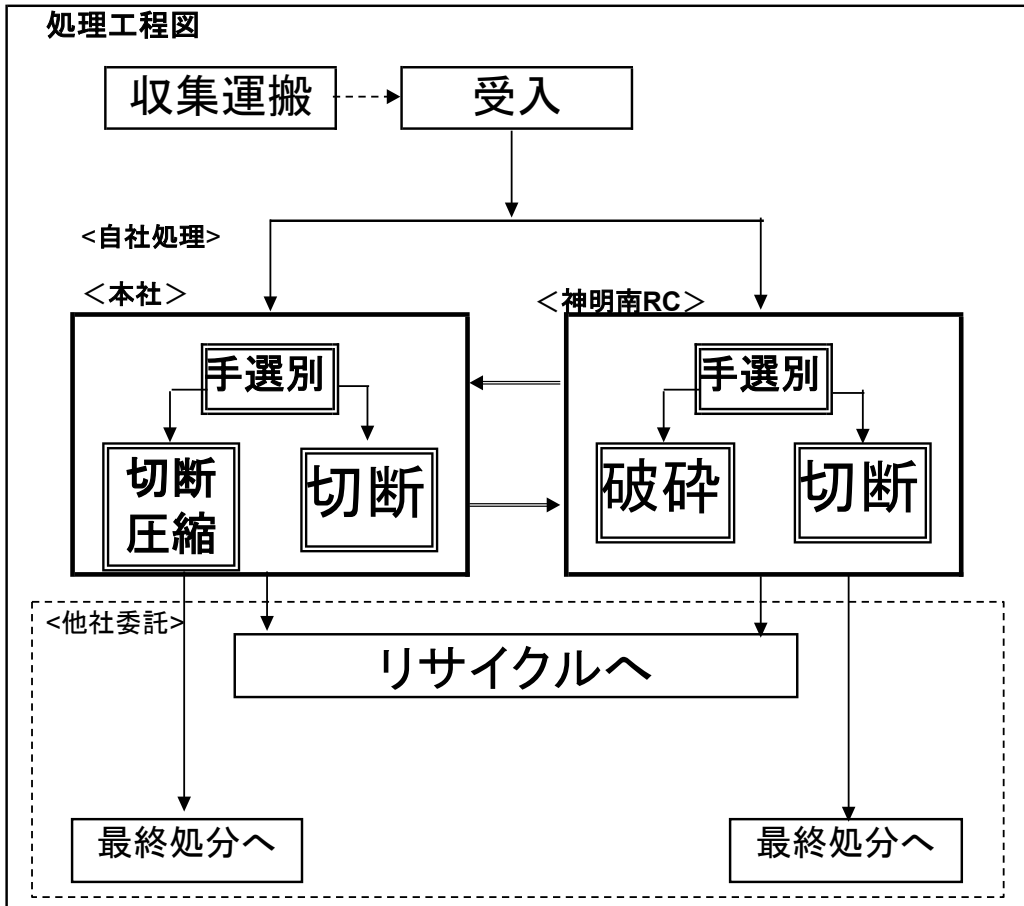
積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
172.8㎡	がれき類	: ドラム缶1個 0.20㎡
最大保管高さ: 0.9m		合計保管量 0.20㎡

積替え保管施設（神明南リサイクルセンター）

積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
221.24㎡	廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃蛍光灯及び廃電球類に限る）	200L ドラム缶 0.2㎡
	汚泥、金属くず（廃乾電池に限る）	20L ペール缶 0.02㎡
	廃油	200L ドラム缶 0.2㎡
	廃油、廃酸、廃プラスチック類、金属くず（廃塗料類に限る）	200L ドラム缶1個 18L 一斗缶5個 0.29㎡
	汚泥、廃プラスチック類、金属くず（廃消火器に限る）	0.25㎡鉄箱1個 0.25㎡
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）	8㎡コンテナ1個 8㎡
最大保管高さ: 1.45m		合計保管量 8.96㎡

運搬車両の種類と台数

運搬車両の種類	台数
2トン平ボディー	2 台
2トンパワーゲート付	1 台
3トン平ボディー	3 台
3トンアームロール	1 台
4トン平ボディー	1 台
4トンアームロール	6 台
4トンクレーン付	1 台



廃棄物処理料金

廃棄物の種類、数量、排出場所等により、お見積り致します。
 弊社担当伊藤までご相談ください。TEL 03-3883-4649
 FAX 03-3859-9010
 E-mail itou@maruho-s.com

10. 環境目標とその実績

10.1. 2018年度 (期間2018年4月～2019年3月)

項目		単位	基準年度	2018年度		
			2017年度	実績	(目標)	(実績)
電力の削減		KWh	10215	10,113	10,536	×
二酸化炭素削減(電力)		kg-CO2	5,363	5,309	5,531	
収集運搬車両の燃費向上		km/ℓ	6.16	6.22	6.20	×
収集運搬車両の燃料使用量		ℓ	18,438	18,253	18,171	○
二酸化炭素総排出量(軽油)		kg-CO2	48,388	47,902	47,687	○
水道水の削減		m ³	41.1	40.6	24.7	○
一般廃棄物の削減		kg	11.60	11.52	11.40	○
		kg/月平均	0.97	0.96	0.95	
受託産業廃棄物のリサイクル率向上		%	96.2	96.2	95.6	×
会社前清掃		回/年	21	24	18	×
グリーン購入		円	48,452	20,000	17,051	×

※購入電力(KWh)についての二酸化炭素排出係数は0.525(kg-CO2/KWh)を採用している。

10.2. 第二期中期目標

項目		単位	基準年度	2019年度	2020年度	2021年度
			2017年度	実績	(目標)	(目標)
電力の削減		KWh	10,215	10,113	10,113	10,113
二酸化炭素削減(電力)		kg-CO2	5,363	5,309	5,309	5,309
収集運搬車両の燃費向上		km/ℓ	6.16	6.22	6.28	6.34
収集運搬車両の燃料使用量		ℓ	18,438	18,253	18,069	17,884
二酸化炭素総排出量(軽油)		kg-CO2	48,388	47,902	47,419	46,934
水道水の削減		m ³	41.1	41.1	41.1	41.1
一般廃棄物の削減		kg	11.60	11.52	11.52	11.52
		kg/月平均	0.97	0.96	0.96	0.96
受託産業廃棄物のリサイクル率向上		%	96.2	96.2	96.2	96.2
会社前清掃		回/年	21	24	24	24
グリーン購入		円	48,452	20,000	20,000	20,000

※購入電力(KWh)についての二酸化炭素排出係数は0.525(kg-CO2/KWh)を採用している。

※2018年度より弊社事業年度期間を4月～3月に変更したためEA21活動サイクルも同様に4月～3月に変更した。それに伴い2017年度(基準年度)実績値も4月～3月に変更して記載した。

※2019年度の各削減目標値は2017年度を基準年度とした2018年度目標値と同じ数値とする。

11. 主要な環境活動計画の内容と評価
2018年度目標とその実績についての計画と評価

取組項目	達成状況	評価（結果と今後の方向性）
電力の削減 ・省エネシールを活用し節電を促す ・無駄な電気は消す（退室時・昼休み） ・空調温度の適正化 （冷房28℃前後・暖房20℃前後）	目標：10113kwh 実績：10536kwh （目標値比約+4.2%）	達成できなかった。 神明南RCの受入処理量が前年度比1.5倍と受入量の増加による機械類の消費電力増加が未達成の原因。本社工場冷暖房の使用は節電活動の徹底により省エネが実現できています。次年度は消費電力量の多い機械類の無駄のない使用を心がけて電力削減に努める。
	目標：5,309kg-co2 実績：5,531kg-co2 （目標値比約+4.2%）	
収集運搬車両燃料の燃費向上 ・エコドライブ10のすすめの実施 ・各車両毎の燃費を月毎に算出 ・アイドリングストップ ・低燃費車両の活用	目標：6.22km/ℓ 実績：6.20km/ℓ （目標値比約-0.3%）	達成できなかった。 前年度より燃費数値向上はしたが、目標値には届かなかった。「早めのシフトアップ、控えめなエアコン使用、タイヤ空気圧チェック」など燃費向上に効果の大きい事項の取組み強化と、エコドライブ10の実施、低燃費車両を活用し燃費向上に努める。
水道水の削減 ・節水シールを貼り節水を促す ・ホースの先に散水弁を付ける ・最新式の超節水節電トイレに取替 ・私設水道メーターを増設して個別にデータ収集	目標：40.6㎡	達成できた。 従業員同士、こまめな節水の呼びかけと水道使用量の多い粉じん防止には、効果的な散水と粉じん対策以外の節水にも高い節水意識をもって取組みを行い実践し目標達成をする事が出来ました。次年度も、活動徹底を継続。
	実績：24.7㎡ （目標値比-39%）	
一般廃棄物の削減 ・コピー用紙の裏紙を使用する ・廃コピー用紙のリサイクル ・ペットボトルはリサイクル	目標：11.52kg	達成できた。 分別ボックス常設以降は、紙類やペットボトルなどをリサイクルに回したことで、一般廃棄物の排出を最小限に抑えることができています。紙ごみの削減については、両面コピー、使用済用紙の裏面印刷、印刷内容をよく確認してから印刷を徹底してコピーミスを減らし、コピー用紙使用量削減にも努める。
	実績：11.40kg （目標値比-1.0%）	
受託産業廃棄物のリサイクル率向上 ・新規リサイクル業者の開拓 ・リサイクルできるものの教育・周知徹底 ・リサイクル可能、不可能のサポール写真を作成し事務所に備える	目標：96.2% 実績：95.6% （目標値比-0.6%）	達成できなかった。 従業員にリサイクルへの意識向上とリサイクル可否の見極めも浸透し、新人教育も行いリサイクル分別徹底はできたが、リサイクル率の達成は出来ませんでした。今年度新たにリサイクルルートを確認しており新規開拓と分別の活動徹底を継続。
会社前清掃 ・月2回、会社周辺の一斉清掃 ・清掃チェックリストの作成・使用	目標：月2回以上 （実績 18回/年） （目標値比-6回）	達成できなかった。 繁忙期に基準の月2回を達成できない月があったが、年間を通して18回清掃活動を行った。清掃活動は定着しており、引き続き地域の環境保全に協力していきます。
グリーン購入 ・エコマーク認定品の購入 ・グリーン購入の従業員への周知徹底	目標：購入金額20,000円/年 実績：17051円/年 （目標値比-14.7%）	達成できなかった。 事務用品等の備品発注時には、グリーン該当品目確認を意識して環境に配慮された製品を購入するように努めていきます。

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。
 なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	違反の有無
東京都環境確保条例	無し
騒音規制法	無し
振動規制法	無し
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無し
足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	無し
建設リサイクル法	無し
自動車Nox-PM法	無し
自動車リサイクル法	無し
家電リサイクル法	無し
資源（パソコン）リサイクル法	無し
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（水銀使用製品産業廃棄物）	無し
小型家電リサイクル法	無し

13. 代表者による全体評価と見直しの結果 (H30年4月～31年3月)

前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
1. 廃棄物処理法の施行規則改正により水銀使用製品産業廃棄物（廃蛍光灯）処理基準が改正	環境関連法規等一覧表/遵守評価表に東京都「水銀廃棄物について」の水銀使用製品産業廃棄物に記載されたこれらを参照して追記を行いました。
2. 受託産業廃棄物量が前年度比0.72倍と減少し今後も同様な傾向が予測。 2017年度より事業年度期間変更が変更	2018年度からは2017年度を基準年とした固定型3カ年中期目標の策定と活動サイクルは事業年度期間に変更した「環境活動計画」策定・実行し確認・評価・指示を行いました。

今回の評価結果

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1. 環境目標の達成状況 電力： 4.2%：電力量削減 (未達成) 産廃： 0.6%：リサイクル率低下 (未達成) 排水： 3.9%：水道水削減 (達成) 一廃： 1.0%：排出量削減 (達成) 燃料： 0.3%：燃費向上 (未達成)	<ul style="list-style-type: none"> ・神明南RC受入処理量が前年度比1.5倍と受入量増加が未達成原因。次年度も機械類の無駄のない使用を心がける。 ・リサイクル意識の向上、分別の徹底はできたが目標達成出来なかった。リサイクルルート新規開拓と取組項目活動の徹底を継続。 ・水道使用量の多い粉じん防止に効果的な散水を心がけて行なった。引き続き節水意識向上に努める。 ・分別ボックス常設以降、紙類やペットボトルをリサイクルに回したことで排出を最小限に抑えており今後も継続。 ・配車管理において低燃費車を活用し前年度より燃費向上したが目標には届かなかった。従来施策を継続し目標値を意識して燃費向上に努める
2. 環境活動計画の実施及び運用結果 電力：受入処理量増加が消費電力につながった 産廃：選別の徹底はしたが再生不可物の受入が多量の為リサイクル率は低下した。 排水：効果的な散水で削減できた。 一廃：分別ボックスの常設で削減できた。 燃料：配車管理と車両メンテの実施	
3. 環境関連法規等の遵守状況 関連する環境法規等の改正を調査確認。	環境法規の改正を確認。 遵守評価を平成31年2月13日に実施。
4. 外部からの環境に関する苦情・要望 実績なし	騒音と飛散防止のため、本社シャッター下ろし、神明南RC鉄扉を閉めての作業を基本としています。今後も十分な配慮をおこなうこと。

環境管理責任者への指示内容

指示項目	変更する必要性判断	代表者の指示内容(5W1Hで)
1. 環境方針	有(無)	・継続
2. 環境目標	有・無	・2018年度未達成した(電力・産廃・燃料)の2019年度環境目標値を設定するにあたり、目標値として達成するには2017年型固定型3カ年では難しいので2019年度の環境目標値は2018年度と同じ目標値で再トライとする。 ・高効率達成事項の目標値は基準年年度をオーバーしないこと
3. 環境活動計画	有・無	・神明南RC電力削減に環境目標を達成する取組を記載。
4. 環境経営システム(上記1. 2. 3以外)	有・無	・2019年度より神明南RCにて「緊急事態訓練」を実施。 ・環境活動レポート許認可所得状況に「水銀使用製品産業廃棄物」を追加し(東京都含他各県)許可更新時に順次記載

総括

<p>エコアクション21を導入して9年が経過しました。今年度は全体評価としては十分ではありませんが成果はあげられています。特に弊社の重要項目であるリサイクル率はわずかですが目標達成ができず、処理受入量の増加に伴い電力量削減も達成できない部分がありました。個々の対策については改善策を指示してはいますが、活動の中で新たな改善策が見つければ積極的に取り入れ目標の達成に努めていきます。引き続き、活動に対する意識の向上と地域の環境保全に貢献できるように進めていきたいと思っております。</p>
